

大腸癌腹腔鏡手術のエキスパート

黒柳洋弥 先生来たる



黒柳洋弥
(くろやなぎ・ひろや) 先生

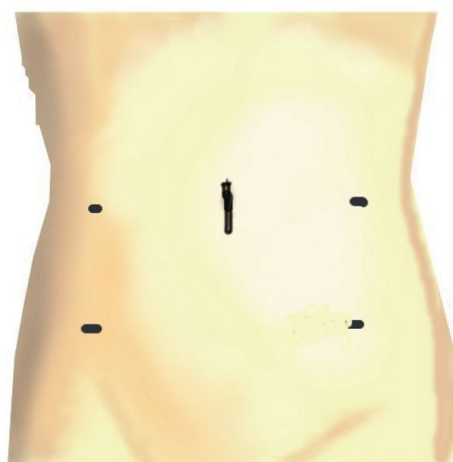
1962年米国シカゴ生まれ。87年、京都大学医学部卒業後、国立京都病院、米国のマウント・サイナイ病院、がん研有明病院を経て、2010年より虎の門病院 下部消化管外科 部長。

大腸癌腹腔鏡手術における日本のエキスパート、虎の門病院 黒柳洋弥 先生にお越しいただき、そのご指導のもと、宮原和弘 先生執刀にて直腸癌の高難度手術が行われました。

大腸癌腹腔鏡手術

腹腔鏡下手術は体に優しい手術として近年普及しつつあります。当院外科でも10年前より積極的に取り組んでおり、現在、大腸癌のほとんどの症例を腹腔鏡下に治療しています。平成27年に当院で行った大腸癌手術53例中、46例(86.8%)の患者様が腹腔鏡下手術を受けられており、これは山梨県内で最も多い症例数(山梨日日新聞アンケート調査より)でした。腹腔鏡下手術は比較的新しい治療法で、従来のお腹を大きく開く開腹手術に比べ専門的な技術を要するとされ、特に臓器の入り組んだ骨盤内での操作を要する直腸癌は、難度が高く高度の技術を要すると言われていますが十分な経験と技術の向上に伴い安全かつ正確な手術が可能となり、現在までに約300人の患者様の治療を腹腔鏡下に行ってきました。

腹腔鏡下手術の創（最大4 - 5 cm）



腹腔鏡下手術のイメージ



直腸癌の高難度手術

今回、肛門からわずか4cmに存在する高度進行直腸癌の患者様が受診されました。一昔前なら大きく開腹し、腹会陰式直腸切断術という術式で癌を肛門を含めてくりぬき切除し、永久的な人工肛門になってしまうところですが、術前に抗がん剤と放射線治療を行い縮小を図った上で腹腔鏡下に直腸を切除し肛門を温存してつなぎ直し、さらに骨盤のリンパ節を切除するという高難度手術が可能と判断しました。

手術を行うにあたり、大腸癌腹腔鏡手術の日本における第一人者で当院と交流もある虎の門病院 黒柳洋弥先生のお力をお借りするのがベストと考え、お願いしたところ快諾していただき実現いたしました。黒柳先生は、一昨年、当院で行われたライブ手術で執刀され、山梨県内の大勢の外科医の前でその卓越した技術を披露し手術を成功させております。



手術の様子（術中は3Dメガネをかけています）

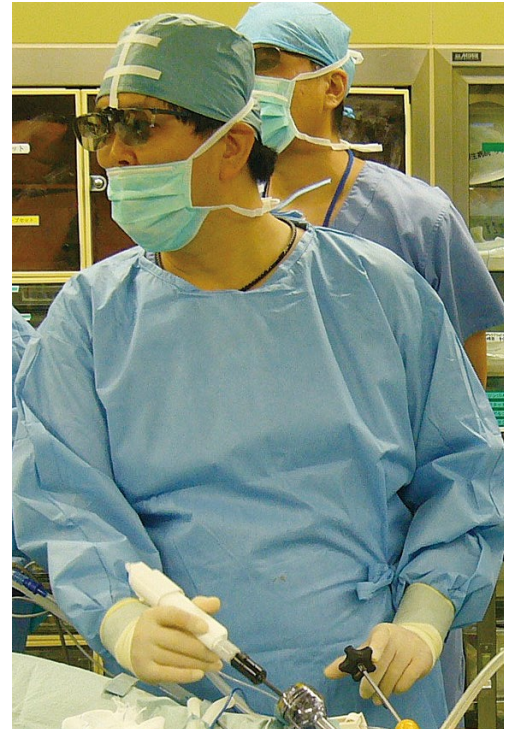


手術中の黒柳先生

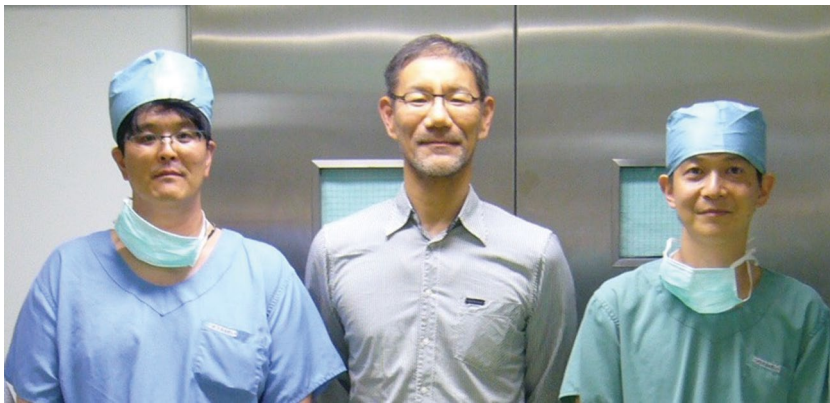
黒柳洋弥先生を迎えて

黒柳洋弥先生を迎え、そのご指導のもと外科 宮原和弘先生執刀にて直腸癌に対する腹腔鏡下手術が行われました。県内から7人の外科医師が手術見学に来られ見守る中、黒柳先生の細やかなアドバイスをもとに手術は順調に進められました。

術前の放射線化学療法の影響で通常より直腸周囲の組織が固く剥離層が不明瞭で極めて困難な手術でしたが、直腸の奥の方の剥離・骨盤のリンパ節郭清は黒柳先生のまさに神の手と言える卓越した技術で進められ、また終始和やかな雰囲気の中で、腹腔鏡下直腸超低位前方切除術、左側方リンパ節郭清術が無事に終了しました。この手術に参加したすべての人が、日本の最高峰の手術を目の当たりにすることができたと思われました。



執刀の宮原先生



黒柳先生と手術に参加した当院外科医

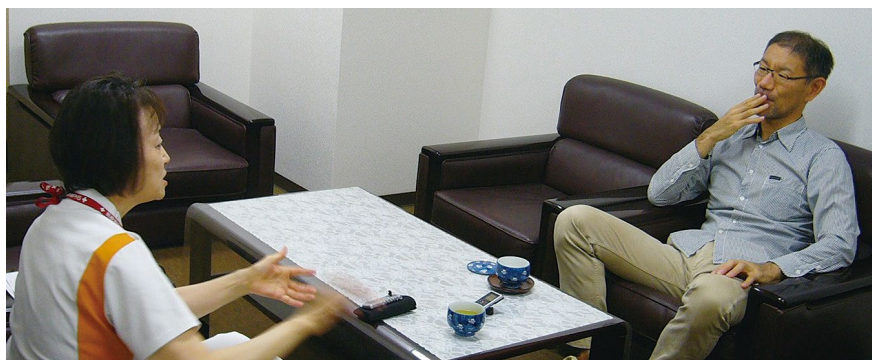
黒柳先生にインタビュー

手術終了後、丹澤看護部長によるインタビューも快く受けていただきました。

黒柳先生が普段心がけているのが”折れない心”。手術中、工作中などで辛く困難な場面に遭遇し、自分に負けて妥協してしまいそうな時は、先生が座右の銘とされている『心に太陽を、唇に歌を』という言葉の思い浮かべ、ポジティブに明るく乗り越えるようにしているとおっしゃっていました。

そして、物事を達成するためには、『series of small successful steps（小さなことを一つずつ積み重ねていくことが、大きな成功につながる）』という、恩師の言葉を胸に、日々取り組んでおられるとのことでした。

黒柳先生の将来の夢は、後進が育って腹腔鏡手術が広く普及することとおっしゃっていました。最近問題視されることもある腹腔鏡下手術ですが、きちんとやれば絶対にいい方法なので、その恩恵を患者様も外科医も受けられるように腹腔鏡手術が広まって欲しいと切望されておりました。



丹澤看護部長によるインタビュー



手術終了後、当院スタッフと

この度手術を受けられた患者様は順調に回復され、
元気に退院されております。

当院では、腹腔鏡下手術を得意としておりますが、
超高難度手術等の際には必要に応じて他施設と連携を
取り、常に安全に確実に病気を治すことを最優先に考
えております。

山梨県内においても日本のトップレベルの腹腔鏡下
手術が受けられるよう今後とも努力していきたいと思
います。



手術室師長と2ショット

— 外来受診のお知らせ —

- 月曜から土曜日の午前中外科外来で診療を行っています。
- 初めて受診する場合は、総合受付でカルテを受け取り外科外来へお出し下さい。
- 胃、大腸、胆のう、鼠径ヘルニア、虫垂炎、小腸、等多くの疾患に腹腔鏡下手術を行っています。

※ご不明な点は当院外科外来にお問い合わせください。

山梨厚生病院：0553-23-1311（外科外来：内線 1124）